

INFORMATION

気胸センターのご案内

呼吸器外科医長 櫻庭 幹

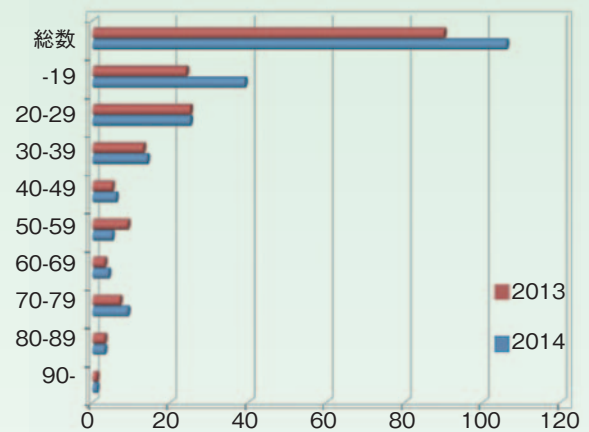
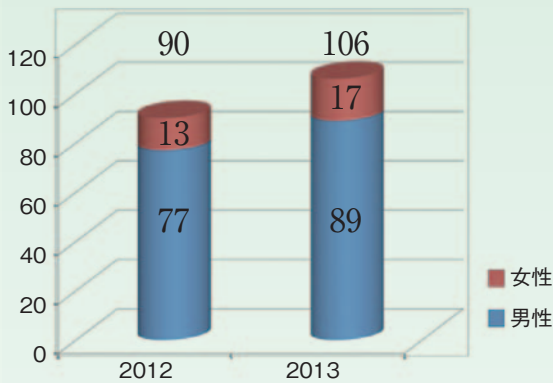


【気胸センターのメンバー】

当院気胸センターは、2008(平成20)年9月の開設から丸5年が経過しました。諸先生方のご紹介により、年々受診患者数が増加し、2012(平成24)年度は90名、2013(平成25)年度は2月までに106名の受診がありました。軽度気胸であれば当院外来にて経過観察、中等度以上の気胸であれば初発気胸でも入院のうえ保存的治療を行っております。しかし、空気漏れの持続する患者さんあるいは反復する気胸の患者さんには胸腔鏡手術を施行しています。高齢者の患者さんや重症な呼吸器疾患を合併し全身麻酔での手術が困難な患者さんには、気管支鏡を用い空気漏れの責任気管支の気管支充填術を行っております。

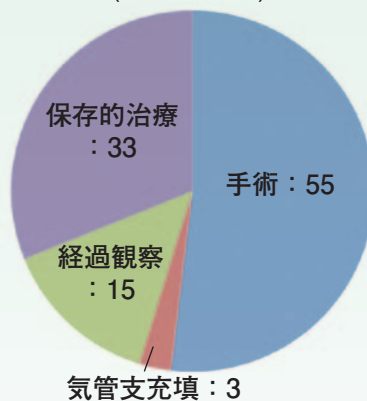
2013年度(2月16日現在まで)、当センターの実績をお示します。手術数は55例、気管支塞栓術は3例、入院のうえ保存的治療は33例、外来経過観察は15例でした。手術は基本的に胸腔鏡を使用して肺部分切除および肺カパーリングを行っていますが、症例によっては小開胸を用い肺嚢胞の縫縮術を行っております。気管支充填術は、局所麻酔下でさらに鎮静をかけ、気管支鏡でシリコン塞栓物(EWS)やポリグリコール酸シートを用い塞栓しています。気胸発症の年齢層は、自然気胸の20歳代以下が64例と全体の60%以上を占めています。また50歳以上の肺疾患に伴う続発性気胸は22例で約20%を占めています。最高齢では98歳の保存的治療で軽快退院、昨年度は93歳の患者さんに手術を施行し独歩退院していただきました。

最近2年の気胸患者数



2013年度(-2014/2/16) 気胸治療法

2013年度(-2014/2/16)の気胸患者年齢分布



当センターの構成は、呼吸器外科櫻庭と呼吸器内科楠堂で担当しています。当センターは、24時間、365日受け入れ可能な施設です。夜間、休日など転送先にお困りの折には当センターをご利用ください。気胸と診断され治療が必要となった場合、直接当院代表(011-726-2211)へご連絡ください。交換から直接担当医に連絡をとれるようにしております。また、平日日中は直接当院代表へご連絡頂ければ担当医につながり、外来を含め迅速に対応させていただきます。お気軽にご連絡いただければ幸いです。

各先生方からの紹介をいただき感謝しております。今後もセンターの充実を図っていく所存でおります。ご協力いただければ幸いです。